

広島市植物公園公式 twitter アカウントの開設

大矢祐一郎

背景

twitter や instagram などの SNS の普及に伴い、その利用は個人のみならず一般企業や官公庁での情報発信や採用活動にまで広がっている。各地の植物園、動物園でも、イベント情報の提供や植物・動物写真の発信など SNS を活用した広報活動に積極的に取り組んでいる例が多い。当園の運営母体である（公財）広島市みどり生きもの協会が管理運営する安佐動物公園や森林公園こんちゅう館、中央公園ファミリープールでも、twitter を用いた情報発信に取り組んでいる。しかし、当園では twitter や instagram といった SNS のアカウントを開設しておらず、現代の情報発信の主流のひとつである SNS が広報活動に利用できない状況であった。そこで、代表的な SNS のひとつである twitter のアカウントを新たに開設し、情報発信に取り組むこととした。主な提供情報などを以下に述べる。

広島市植物公園公式ツイッターの導入時期及び提供情報

(1) 導入時期：令和3年3月17日

世界一背の高い花「アモルフォファルス・ギガス」の国内3例目の開花(のちにアモルフォファルス・デカスシルヴァエと判明した)を目前に控え、ツイッターを用いた情報発信ならびにアカウント開設の周知を図る好機であった。

(2) 主な提供情報

- ア 利用案内：開園時間や休園日などの変更、異常気象や災害発生時における開園の有無に関する情報
- イ イベント情報：実施日、実施時間、場所、内容など
- ウ 開花情報や園内の様子に関する情報など

運用ポリシー

広島市公式ツイッター運用ポリシーに準じて当園の運用ポリシーを定め、ツイッター上で公開している。また、当園の運用ルールを定め、

ツイッターの運用はこの運用ルールに基づいて行っている。

運用の状況と今後の取り組み

令和3年12月現在のフォロワー数は1571人である。運用開始から休園日を除きほぼ毎日、園内の植物などの情報を発信している。今後の取り組みとして、園内の植物を次々取り上げて投稿するだけでなく twitter 利用者の関心を呼ぶ植物（ネモフィラ・サガリバナ・ヒスイカズラなど）の集中的な PR や、企画展示中の植物やイベントを連続的に取り上げるキャンペーンを実施するなどの広報計画の立案、夜間開園などの大規模イベント時に園内の様子を発信するための取材時間の確保、投稿のための写真撮影技術の向上などが挙げられる。



図 広島市植物公園公式 twitter プロフィール画面